

議 会 報 告

相模原市議会議員

城熱通信
スクラム

みす城太郎

発行日 令和6年4月
発行 さがみみらい
責任者 三須城太郎
相模原市中央区中央2-11-15
☎042-769-8312

令和6年相模原市議会定例会3月定例会議が2月13日(火)から3月19日(火)までの36日間をかけて開催されましたのでご報告致します。

議案 議案につきましては、相模原市人権尊重のまちづくり条例の制定、相模原市重度障害者等福祉手当条例の廃止、相模原市医療費助成条例の一部を改正する条例などの議案や令和6年度相模原市一般会計予算、特別会計予算、公営企業会計予算や低所得世帯・定額減税補足給付金事業に関する令和5年度一般会計補正予算など、合計62件の議案が上程され、可決・同意されました。



令和6年度 予算 について審議！

令和6年度相模原市一般会計予算

3月の議会は次年度の予算案を審議する議会で、それぞれの委員会で活発な議論がなされました。本市の取り組む重点テーマでもある「少子化対策」、「雇用促進対策」、「中山間地域対策」の経費をはじめ、本市の個性を生かす分野として位置づける「子育て」、「教育」、「まちづくり」を中心とした取り組みなどに係る経費等が計上されました。

予算規模

令和6年度の一般会計当初予算の規模は、**3,415億円**（対前年度比129億円増加、3.9%増）で過去最大規模となりました。社会保障関連経費の増加等に伴う扶助費の増加、定年延長の影響による退職手当の増加等に伴う人件費の増加、小中学校の校舎等に係る長寿命化経費が増加したことなどが要因となっております。

市税収入

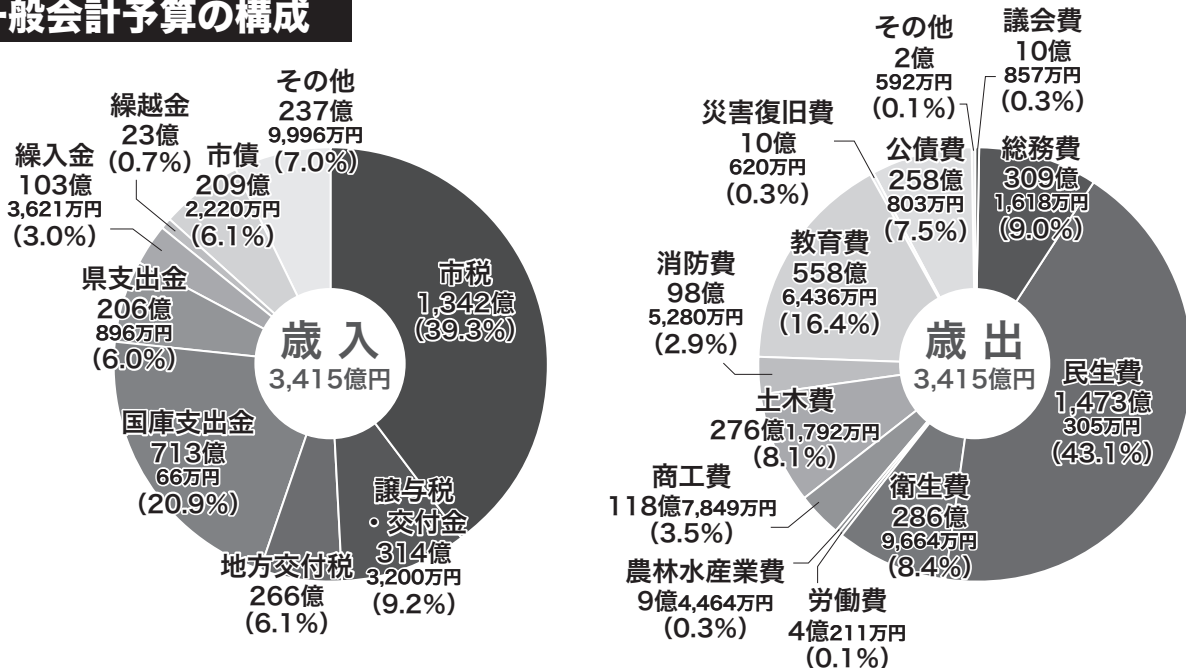
市税収入は、**1,342億円**（対前年度比1億円減収、0.1%減）で評価替えによる固定資産税の増収や企業収益の堅調な推移による法人市民税の増収などを見込んでいる一方、定額減税による個人市民税の減収を見込んでいることなどが要因となっております。

扶助費

扶助費は例年増加傾向となっており、社会保障関連経費の増加などにより約1,071億円（対前年度比52億円増）となっております。

※扶助費は、生活困窮者や、子育て世帯、障害者などの生活を支援するための費用。

一般会計予算の構成



一般質問

本定例会議では、一般質問を行い、今回も地域の方や市民の方の声を基に質問をしました。下記の通り抜粋して内容を報告致します。

1. 持続可能な公共交通について
 - (1) 乗合タクシーの実証実験について
 - (2) 運転士の確保について
 - (3) 次世代交通システムについて
2. スポーツを通じた本市の魅力発信について
 - (1) ホームタウンチームとの連携・支援について
 - (2) ホームゲーム開催の支援について
3. 本市の豊かな自然を生かした観光振興について
 - (1) 現在の取組状況について
 - (2) 市営キャンプ場の利用状況等について
 - (3) 安全・安心なキャンプ場の利用について

次世代交通システムについて**質問**

自走式ロープウェイ「ジッパー」は、交通渋滞に左右されず定時性が確保されるとともに、渋滞の緩和に資する移動手段になると考えられる。また、運転手も必要としないことから、事業者による人材確保も軽減されることが考えられる。将来にわたり持続可能な新たな移動手段として、本市においてジッパーを活用することについて、見解を伺う。

答弁

今後、実用化に向けた開発の状況や他自治体の動向、移動手段としての効果などを注視していく。

要望

本市が「選ばれるまち」となるためには、他自治体の先行事例になる方策を検討し、まずは開発事業者と連携協定を締結するといったことからスタートするなど、新たな交通システムの導入に積極的に取り組まれるよう要望する。

ホームゲーム開催の支援について**質問**

ギオンスタジアムは最寄り駅から少し離れているため車での来場者が非常に多く、試合のたびに駐車場が混雑している状況がある。この状況を改善するため、市も対応する必要があると考えるが、市の考えを伺う。

答弁

公共交通機関の利用、来場の分散化、それらの十分な事前調査等、考えられる対応策について、ホームタウンチームと共に検討したい。

要望

一般廃棄物 最終処分場 第1期整備地は、非常に広大な敷地で50,000㎡以上ある。ギオンスタジアムの駐車場不足を解消するためにも、跡地の一部に駐車場を整備して、試合観戦に訪れた方も駐車ができるようにして頂きたい。

安全・安心なキャンプ場利用について**質問**

近年、女性のソロキャンパーも非常に増えており、声を掛けたり、「つきまとい」などの事案も発生し、非常に問題となっている。全国では、女性を守り、安心してキャンプを楽しめるように、女性専用サイトを設置しているキャンプ場や女性限定デイを設けているキャンプ場もある。市営キャンプ場でそのような取組をしてみてもどうかと考えるが、見解を伺う。

答弁

利用状況を踏まえ、女性専用サイトの設置なども含め必要な安全対策を検討していく。

要望

女性ソロキャンパーも安心してキャンプを楽しめるようなイベントの開催や環境づくりを市営キャンプ場で実施して頂き、市内外からも多くの方が訪れるようなキャンプ場となることを期待する。